

派遣報告書

平成28年7月25日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 米田 勝彦



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間
 - 平成28年7月21日(木)から平成28年7月22日(金)まで
- 2 派遣先
 - ロボットに関する講演会及び展示会
名称：「SoftBank Word 2016 情報革命の未来を、その目に」
 - 会場：ザ・プリンスパークタワー東京(東京都港区)
 - 主催：ソフトバンク(株)/ソフトバンクロボティクス(株)
 - 協賛：Google・IBM・Juniper・Microsoft・Yahoo
- 3 視察(調査)議員名
 - 米田 勝彦
- 4 面会者
 - 展示会 ・Dropbox Japan 株式会社 荒井一広 氏
 - ・Jena 株式会社 大野 峻 氏
 - ・その他、多数のロボット関連の展示ブースを訪問。
- 5 派遣目的
 - 人工知能やロボットが、社会にどう関わってくるのか、知るため。
- 6 視察の経過及び感想
 - 別紙「行政視察調査報告書」
- 7 添付書類
 - 面会者名刺(写し)
 - 視察先提供資料(パンフレット等)

要した経費：1人合計 75,440 円

平成28年7月21日(木)

会場 11:00～

基調講演 T1-1

～12:50

<講演内容より>

- ソフトバンクグループ(株)代表取締役社長 孫 正義 氏によれば、
- すべてがインターネットに繋がる時代が到来する。地球上のすべてのデータを集めることができる。
- その時、人工知能(AI)が目覚ます。
- AIは、データを集めて人間のように学習し、インターネットを使って、命令することができる。
- 人工知能はCPUによって動く。
- このCPUの生産において世界トップのシェアを誇るのがARM社(イギリス本社)である、
- と、この度の買収の経過を含めて、新しい時代の到来を社長は述べておられた。

講演 S1-3

AI×ロボットの最新トレンドおよびビジネス活用

講演 S1-3 16:30～17:10

<講演内容より>

- 医療、介護、教育、携帯端末、家電製品、自動車等、様々な分野でのロボットの活用が紹介された。
- インターネットの展開で、多くのデータが揃うようになった。その結果、分析結果の精度が上がり、ロボットも学習するようになった。
- ソフトバンクが開発した「ペッパー」には、多くの企業が関与して、様々な分野で利用できるように、研究されている。
- ペッパーの基本ソフトは、公開されている。プログラム言語は、1万ある。
- このプログラムを活用して、ペッパーの利用分野を広げるべく取り組んでいる事業者は、個人から大企業を含めて現在200社おられる。この人たちを、アプリケーション・デベロッパー、という。

会場入り口



受付



基調講演 T1-1



講演 S1-3



平成28年7月22日(金)

基調講演 T2-1

基調講演 T2-1 10:00~12:30

宮内謙、樋口泰行、ビル・ルー、富澤文秀の各氏

- 情報機器の発達により、膨大な量のデータが集まるようになった。
- ただし、膨大な量のデータを保存する場所が必要となった。
それが「クラウド」です。
- 地球規模でクラウドサービスを提供できる企業は、正直なところ
マイクロソフト、Google、アリババ、Amazonの4社です。
- こうした膨大なデータは、人間の能力では、処理しきれない。
- 人工知能(AI)が必要となる。
- AIとロボットの市場規模は、国内で2020年には30兆円になるだろう。
- ソフトバンクは、その先端を行っている。



視察感想

- この度、ソフトバンクは、ARMという会社を買収した。
- これからの社会は、人工知能が私たちの暮らしに大きく関わってくる。
- 人工知能(AI)は、CPUによって動く。
- ARM社のCPUは、世界の携帯情報端末の80%以上に、使われている。
- ソフトバンクは、これからやってくる「IoT社会」、つまり
すべてのものがインターネットに繋がり、人工知能(AI)によって
制御される時代を見据えて、ARM社を買収したといわれている。
- ソフトバンク、およびそれに関わる企業を知れば、
社会の変化を知ることができる。
私たちの暮らしが、どう変わっていくのか、知ることができる。
- この度の視察の意義もそこにある。
- ソフトバンクが開発した「ペッパー」というロボットがある。
- このロボットは、人工知能(AI)を、活用し発展させて動く。
- ソフトバンクは、それを動かす基本ソフトを、公開している。
- 各企業は、その基本ソフトを活用して、
ペッパーを様々な用途に使えるように、プログラムを開発している。
介護、医療、観光、セキュリティー等、様々な分野での活用を
図ろうとしている。
- 政府は、成長戦略の一つに、ロボット産業を挙げている。
- 一億総活躍社会のなかで、ペッパーが大きな役割を果たすことは
間違いないと思われる。
- この度の視察で、社会の変化の一端を実感することができた。
- 倉吉の産業振興に役立てたい。

